

# 2016年1-3月期中国GDPについて

## ポイント① 概ね市場予想通りの6.7%成長

4月15日発表された2016年1-3月期中国実質GDP(国内総生産)成長率は、前年同期比+6.7%となりました。昨年10-12月期の+6.8%を若干下回るものの、事前の市場予想に概ね一致する結果となりました。また、2016年の政府目標(+6.5~7%)にも沿った形となりました。2016年年明け以降も、原油価格とともに、世界第二の規模を誇る中国経済の動向が世界の金融市場の波乱要因となっていたこともあり、本日の発表に市場の注目が集まっています。

## ポイント② 中国経済の安定化を示す内容

今月に入り、中国経済が足元安定に向かいつつあることを示唆する経済指標の発表が続いています。1日発表された3月の中国製造業PMI(購買担当者景気指数)は50.2と、市場予想以上の改善を示し、景気判断の境界となる50を上回りました。同日発表された3月の非製造業PMIも53.8と、2月の52.7から上昇しました。

また、13日発表された3月の貿易統計においても、輸出は前年同月比+11.5%、輸入は同-7.6%(米ドル建てで算出した数値)となり、いずれも市場予想を上回る水準となりました。輸出については、昨年3月の数値が春節(旧正月)の連休に絡む季節要因で大きく落ち込んだ反動が大きいとみられるものの、輸入の減少幅縮小については、政府の景気刺激策が奏功しはじめ、内需が改善しつつあることを示唆するものとの指摘があります。

今回のGDP統計も、こうした見方を裏付けるもののひとつと考えられます。

## ポイント③ 市場心理改善に寄与

GDP統計と同日に発表された2016年1-3月の中国固定資産投資や不動産開発投資は足元加速しており、金融緩和とともに、中国政府が打ち出してきたインフラ整備や住宅市場テコ入れなどの施策の効果が、ようやく発現しはじめた可能性があります。

中国経済の改善・安定化を示す経済指標の発表が継続すれば、底入れの兆しを見せる原油価格とともに、金融市場全般のセンチメント改善を促すことが期待されます。

重要  
イベント

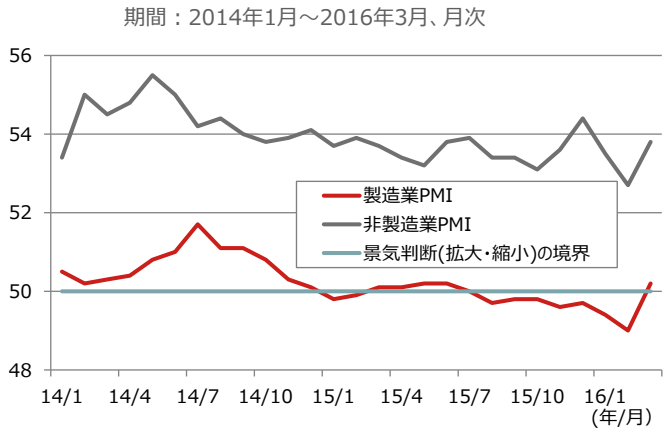
4月18日	新築住宅価格(3月)
5月1日	製造業・非製造業PMI(4月)
5月7日	外貨準備高(4月)

### 図1：中国本土株指数と人民元の推移



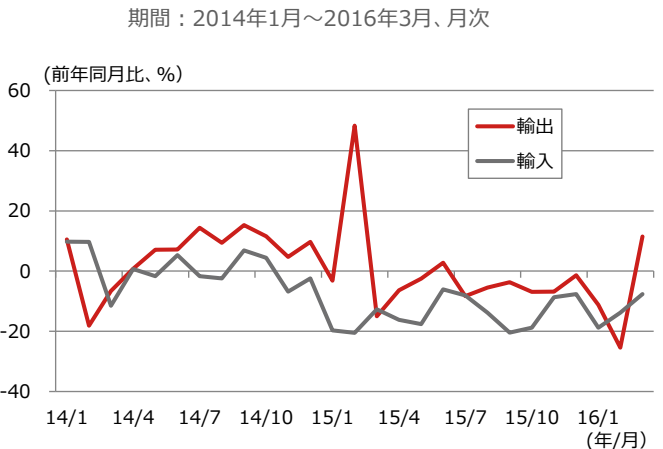
(出所) ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

### 図2：中国製造業・非製造業PMIの推移



(出所) ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

### 図3：中国輸出・輸入(米ドル建て)の推移



(出所) ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。